

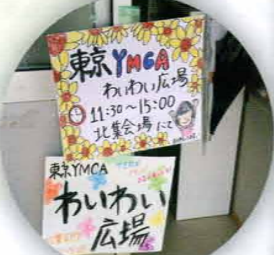


YMCA石巻支援センター活動報告

2013年
秋号

7 2013 July
YMCA石巻支援センター
2013年夏 活動記録

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
		生活再建支援				
14	15	16	17	18	19	20
			生活再建支援			
21	22	23	24	25	26	27
	学習支援・石巻小プール指導					
28	29	30	31			
	石巻小プール指導					



8 2013 August

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	コミュニティ支援(STTプログラム)					
11	12	13	14	15	16	17
	学習支援			コミュニティ支援		女川町子ども
18	19	20	21	22	23	24
	石巻小プール指導			コミュニティ支援		
25	26	27	28	29	30	31
	学童保育支援プログラム					



9 2013 September

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
	学童保育支援プログラム					
8	9	10	11	12	13	14
	漁業・浜支援					
15	16	17	18	19	20	21
	漁業・浜支援					
22	23	24	25	26	27	28
	コミュニティ支援					生活再建支援
29	30					
	生活再建支援					



(夏休み「子ども学習支援プログラム」より)

WE BUILD STRONG KIDS, STRONG FAMILIES STRONG COMMUNITIES.

～私たちは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支え合う地域社会をつくります～

子どもの遊び・学ぶ場のために...



震災後、子どもたちが安心して遊べる場所、勉強できる場所の確保が課題でした。YMCAでは2011年夏より、子ども支援プログラムを継続しています。特に、1)石巻小プール指導、2)石巻市学童保育放課後プログラム、3)女川町子ども遊び場、4)学習支援プログラム(YMCAセンター周辺)が好評です。今夏プール指導にはのべ900人以上の児童が、学習支援にはのべ400人以上の児童が参加しました。子ども支援では、YMCAの青年ボランティア・専門学校生の高度な専門性が活かされており、地域に大変好評です。



仮設住宅・地域コミュニティに「つながり」を...



石巻市での仮設住宅の暮らしは、最長で2017年度まで続く見込みです(災害復興公営住宅の建築作業終了予定より)。長期化する仮設住宅の暮らしを少しでも快適に過ごしていただけるよう、1)お祭り広場、2)交流会プログラム(手芸やレクリエーション)、3)歌の広場、4)健康体操プログラム、などを行なっています。今後は仮設住宅住民と周辺の住民の方々が共に集えるプログラムを行うことで、新しい地域コミュニティの形成を目指しています。特に渡波地域、万石浦地域、大森地域を継続的に支援しています。



生活の再建を目指して...



震災により大きな被害を受けた、牡鹿半島の浜での牡蠣養殖業の支援を行っています。半数の養殖業者が再開を諦め、人手が足りない現状下、ボランティアのサポートが歓迎されています。また、地域住民との対話の中で、現地の人の手が回らない環境整備作業(仮設住宅の草抜きなどの細かいニーズ)にも対応しています。



被災地・石巻の「今」...

震災により多大の被害が出た石巻市沿岸部のガレキは、2013年度末をもって処分が完了する見込みです。しかし、震災による地盤沈下が甚だしく、人が再び住むために土地のかさ上げが必要な地域も少なくなく、地域によってはまだ7年間人が住めない状態が続くとされています。復興は長い道のりですが、それでも「ボランティアとの交流が生きがい」という地域の方々との関係も生まれてきました。YMCAが初期から支援を続けている渡波地区の仮設住宅に住む、おばあちゃん(写真)もその一人です。YMCAがその仮設団地で支援を行うと、必ずお宅に招いて下さいます。ある時は仮設の四畳半の部屋に10人以上で押しかけた事もありました。



石巻市日和山より中瀬を臨む瓦礫は片付いたが、家が建つ気配はない



渡波地区の仮設に住むおばあちゃん 気づけば今夏10回以上もお邪魔しました

一方で、仮設住宅に引きこもりがちの方々も多くいるとも言われています。訪問したボランティアは「被災者が意外に元気だったので驚いた」とよく言いますが、私たちが交わっているのは、被災された方の中でも一部であることを忘れてはなりません。今後も地元と丁寧な関係を築き、共に震災を乗り越える活動を継続したいと思います。



渡波地区の仮設団地自治会の皆さんと東京YMCA会員・石巻ツアー(6月)では震災当時の貴重なお話を伺いました

ソウル・台北・東京（STT）のユースが被災地でボランティア

8月5～11日、「ソウル・台北・東京 YMCA 指導者協議会(通称 STT※)」の提案による「STT 東日本大震災被災地支援プログラム」を開催しました。3都市のYMCAから10～20代の若者12人が集まり、宮城県石巻市にて被災地視察、仮設住宅における花壇整備と各国料理紹介、女川町での子ども遊び場プログラム、高齢者グループホームでの文化紹介等の活動を行いました。

多数の児童が犠牲となった大川小学校を訪問した際には、あまりの惨劇を目の当たりにして口を手で覆い、涙ぐむ姿も見られました。炎天下での花壇整備では、今年7月にとちぎ YMCA の交流プログラムを通じて被災地を訪れたアメリカ人高校生ボランティアが植えた花壇の雑草取りと水やりを行いました。休憩時には住民の方々から冷たいお茶と赤飯、漬物が振る舞われ交流のひとつとなりました。各国料理紹介では、ソウル、台北、東京のユースがそれぞれ、チヂミ、トマトの炒め物、白玉ぜんざいを作り、石巻地域では珍しい各国の料理は大好評でした。毎食前には、順番に自国の言葉で食前感謝のお祈りをし、就寝前には一日の振り返りの時を持ちました。寝泊りした YMCA 石巻支援センターにおいては、布団を並べてアジアにおける過去の歴史と現在の関係について語り合う場面もありました。



震災後3年目にして東アジアに連なる YMCA のユースが相互に交流し、石巻での現地活動ができたことは「支援」を超えた YMCA 運動の一步を大きく踏み出すことができた出来事でした。原発問題、領土問題、歴史認識等、多くの課題を抱える東アジア地域ですが、YMCA のつながりが民間外交の大きな役割を果たすこと、そしてその原動力は未来を担うユースにかかっていることを確信する今回のプログラムでした。

※1978年から2年に一度持ち回りで開催され、首都に共通する課題等を協議している。

(写真) 左：大川小学校への視察 / 上：石巻市内の高齢者グループホームにて

第2回屋内子どもプログラム 「わいわいキッズ in 郡山」を実施

2013年6月29日(土)に、福島県郡山市の「郡山ザベリオ学園」にて屋内子どもプログラムを実施し、子ども39名を含む約70名にご参加いただきました。いまなお屋外での活動に制限されている中、ボランティアリーダーやスタッフによるレクリエーション指導があるYMCAの屋内プログラムは貴重との声をいただき、今後定期的な開催を視野にいれて計画をしています。



女川町立女川小学校へトランシーバーを寄贈

7月10日、日本救世軍とともにトランシーバー(簡易無線機)4台を女川町立女川小学校に寄贈しました。「緊急時避難時にトランシーバーがあれば教員同士で連絡がとれ、児童を安全に避難させることができる」との要望に基づくもので、寄贈の際には、高橋校長、榊原教頭より感謝の意が表されました。ご協力いただきました日本救世軍の皆さまに心から感謝します。



(写真) 寄贈したトランシーバーと女川小学校高橋校長



東京YMCA 東日本大震災復興支援募金 -継続的な復興支援活動にご協力お願いします-

2013年度 東京YMCA 東日本大震災復興支援活動

募金目標額 1,000万円

東京YMCAでは宮城県石巻市をはじめ、福島県内での子ども支援活動、都内避難者に対する避難生活サポート等を行っています。いまだ先行きの見えない復興への途上ですが、これからも地元の方々の方に寄り添う活動ができるような復興支援活動を行う予定です。継続的な支援活動には皆様のご協力が必要です。引き続きのご支援、どうぞよろしくお願いいたします。



YMCA石巻支援センター (宮城県石巻市及び女川町)

子ども支援、ユース活動支援、高齢者支援、コミュニティ支援、生活再建支援

福島県郡山市及び周辺地域

子ども支援(リフレッシュキャンプ、屋内子どもプログラム)

東京都江東区及び都内各所

福島県からの都内避難者支援



子ども遊び場(女川町)



仮設住宅でのお祭り広場(石巻市)

【募金方法】

- 東京YMCA 窓口への持参
 - ゆうちょ銀行への振込み(郵便振替)
振替口座:00120-7-714728 公益財団法人東京ワイエムシイエイ 東京YMCA 会員事務局
 - 銀行振り込み
振込先口座
①みずほ銀行 神田支店 普通 1677931
②三井住友銀行 神田支店 普通 7656469
名義(①②共通) 公益財団法人東京ワイエムシイエイ
- ★「東日本大震災」とお書き添えください。領収書が必要な方は下記までご連絡下さい。
★公益財団法人東京YMCAへのご寄付は寄付金控除(税額控除・所得控除)の対象となります。(確定申告が必要です)



YMCA Big Heart Project は、津波による被災地、福島第一原発事故による放射能の影響を受ける地域、そして避難をしている方々が暮らす全国各地で、全国のYMCA・学生YMCA・ワイズメンズクラブが協力して行う、復興のための活動です。

公益財団法人東京YMCA 会員事務局

住所:135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20

TEL03-3615-5568 FAX03-3615-5578 E-mail: kaiin@tokyo.ymca.or.jp